

平成26年度
事業報告

自 平成26年4月 1日
至 平成27年3月31日

公益財団法人岩手県国際交流協会

「平成 26 年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 多文化共生の地域づくり	3
(1) 情報提供	3
(2) 日本語学習支援	3
(3) 外国人県民の生活支援	5
(4) 講座・研修	9
2 交流による地域づくり	9
(1) 情報の収集・提供	9
(2) 国際交流の推進	9
(3) 国際理解の推進	14
(4) 国際交流団体等との連携	15
3 次代を担う人づくり	16
(1) 講座・研修	16
(2) 海外研修員等の受入れ	18
4 震災被災地復興の支援	19
(1) 外国人相談の実施	19
(2) 震災地域団体支援	19
(3) アイーナ復興バザーの開催	19
< 管理部門 >	
Ⅰ 評議員会・理事会等の開催状況	20
1 評議員会・理事会等	20
2 専門委員会	21
Ⅱ 業務執行体制等	22
Ⅲ 寄附金及び賛助会員の状況	22
1 寄附金の受入れ	22
2 賛助会員の入退会	22

平成 26 年度事業報告

＜概 要＞

平成 26 年度は、事業計画に基づいて、「多文化共生の地域づくり」、「交流による地域づくり」、「次代を担う人づくり」、「震災被災者の支援」の 4 つの柱により、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に係る事業に取り組んだ。特に、県全体の国際交流の推進を図るために、今年度より「市町村国際交流協会との連携強化」を重点事項に掲げ、地域別意見交換会等の開催を行った。また、平成 23 年度来取り組んでいる東日本大震災津波の被災地の復興に向けて、被災地の国際交流団体の活動の再開にむけて継続的に支援した。

本県が誘致に取り組んでいる国際リニアコライダーの誘致について啓発活動に取り組むとともに、一関市での中級日本語教室の開催など対象地域で具体的に事業を実施し受入れ体制の基盤整備に向けて対応を行った。

「多文化共生の地域づくり」、「交流による地域づくり」、「次代を担う人づくり」及び「震災被災者の支援」における主な事業実施の概要は、次のとおりである。

「多文化共生の地域づくり」においては、外国人県民の生活相談の充実に向けて、新たにフィリピン人対応の外国人相談専門員を配置し外国人相談を強化した。また、多言語サポーターの研修会を国際交流センターと一関市で実施しその育成と活用を図った。

また、ホームページを多言語（日本語、英語、中国語、韓国語）で作成し、外国人県民に役に立つ各種生活情報や県民と外国人の交流イベントの情報の提供に努めた。

その他、日本語教室運営を支援するサポーターを育成し、日本語教室の充実を図るため、滝沢市で日本語教室開設研修会を開催した。

「交流による地域づくり」においては、県内各地の国際交流のイベント情報などを紹介する情報紙「jien go」を 6 回発行し、県民の国際交流への参加機会の拡大に努めるとともに、機関誌「いわて国際交流」を 2 回発行し、在住外国人による自国の文化紹介を通じた異文化理解に関することなど、県民がより関心を持ちやすいテーマの紙面づくりに努めた。

また、県の国際交流センターの管理運営を行い、情報提供、交流イベントを開催したほか、語学学習者のニーズに対応して語学コーナーの拡充を図るなど国際交流の拠点機能を果たすよう努めた。ワン・ワールド・フェスタの開催についてはアイーナのほか、一関市川崎町や陸前高田市でも開催し、地域での国際交流の機会をつくった。イベント実施にあたってはアイーナの復興バザーなど他団体の事業と連携して実施しより多様な多くの県民に参加してもらえるよう取り組んだ。

「次代を担う人づくり」においては、「いわてグローバル・カレッジ」を3回開催し、震災や国際リニアコライダーを通じて岩手を世界にどのように発信するか、外国人の視点を通じて考える機会を得た。これらの講演会は、「いわて青年国際塾」と併催することにより、今まで課題だった若い世代の参加者の拡大を図った。またこの二つの講座を通じて、岩手に住みグローバルな視点で考え行動することを学んだ。「いわて青年国際塾」では、留学生も含め多様な外国人と英語で交流し参加者の意欲高揚を図った。

「震災被災地復興の支援」においては、被災地外国人相談員を委嘱し、被災地の外国人相談に応じる体制を整えた。また、被災地で震災のため活動停止中の団体などについて、組織の再建や活動の再開に向けて支援を行った。

また、アイーナ入居施設が連携して取り組むアイーナ復興バザーに参加し復興の支援に取り組んだ。

＜事業活動＞

1 多文化共生の地域づくり

(1) 情報提供

① 多言語ホームページによる情報提供

ホームページ（ブログ、facebook、twitterを含む）にて多言語で、協会からのお知らせ、在住外国人への生活情報、国際交流団体の活動情報等を迅速に発信するとともに、国際リニアコライダー（ILC）の関連情報を発信するなど、海外に向けても岩手の情報を発信した。

- ・ホームページの来訪者数* 38,692件（前年度 42,544件）*トップページアクセス数

② 多言語の国際交流情報紙の発行

県内外の国際交流・協力・多文化共生のイベント情報や外国人への生活情報、協会からの情報等を掲載した英語及び中国語、日本語版の国際交流情報紙を隔月で発行した。

- ・日本語版（隔月 6回） 合計 21,000部（3,500部／回）
- ・英語・中国語版（隔月 6回） 合計 15,000部（2,500部／回）
- （前年度 日本語版（隔月 6回）合計 21,000部、英語・中国語版（隔月 6回）合計 15,000部）

(2) 日本語学習支援

① 日本語サポーターの登録・育成と活用

地域住民等とのコミュニケーションが円滑に進み、在住外国人が安定した生活を送ることができるよう、在住外国人の日本語学習を支援した。

ア 日本語サポーターの登録・活用

在住外国人の様々な日本語学習ニーズに対応できるよう日本語サポーターの登録を行い、依頼のあった外国人に紹介して活用を図った。

- ・登録者 232人（前年度 215人）
- ・活用 32件（前年度 30件）

イ 日本語教室開設研修

在住外国人に対する日本語学習機会の拡大を図るため、地域で活動する団体等との協働により、地域で新たに日本語教室を開設することを目的とした研修会を開催した。

- (ア) 協力 日本語ボランティア「すまいる日本語」
- (イ) 後援 滝沢市、滝沢市教育委員会
- (ウ) 講師 岩手大学国際交流センター准教授 松岡洋子 氏
- (エ) 日本語教師 大畑佳代子氏(日本語ボランティア「すまいる日本語」主宰)
桂 静子氏（雫石町日本語教室主宰）

- (イ) 会場 滝沢勤労青少年ホーム 他
- (カ) 受講者数 23名 (延べ97名)
- (キ) 参加外国人数 8名
- (ク) 開催日時及び内容
 - a 日本語ボランティア概論研修
 - 第1回 平成26年6月28日(土)～29日(日)
 - 第2回 平成26年7月6日(日)
 - 第3回 平成26年8月23日(土)
 - b 日本語教室実地研修 (計4回)
 - 平成26年7月20日、7月27日、8月10日、24日

② 日本語教室運営支援

地域の日本語教室の経済的負担を軽減して、在住外国人の日本語学習を支援することを目的に、日本語教室の運営費に対して助成し支援した。

・助成数 4件 助成総額 259千円 (前年度5件 330千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
日本語語学講座	一関国際交流協会	59,000円 (74,480円)
NIKK日本語教室	日本語サポートクラブNIKK	40,000円 (66,041円)
日本語交流室「じょい」日本語指導	日本語交流室「じょい」	80,000円 (107,633円)
日本語教室「いっぽいっぽ」 運営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	80,000円 (109,702円)

③ 中級日本語教室開設

在住外国人が会話能力だけでなく読み書きにも力を入れた総合的な能力の向上を図ることで自立を支援するため、基本的な会話能力を身に付けた学習者を対象とした日本語教室を国際交流センター及び一関市で開設した。

[一関教室]

期間 平成26年7月3, 10, 17, 24日(木)

回数 全4回

講師 熱海 アイ子氏(ゆうの会代表)

参加人数 延べ57名 (各回平均約14名)

[盛岡教室]

期間 (第1期)平成26年9月3, 10, 17, 24日(水)

(第2期)平成26年12月3, 10, 17日(水)、25日(木)

(第3期)平成27年2月4, 11, 18, 25日(水)

回数 全12回

講師 石崎 青空(当協会スタッフ)

参加人数 延べ52名 (各回平均約4名)

(3) 外国人県民の生活支援

① 外国人相談の実施

在住外国人が安心して生活できるよう、在住外国人が抱えている様々な問題を解決に導くことを目的に岩手県から委託を受け様々な外国人相談を実施した。国際交流センターの機能の一つである「外国人相談」については、スタッフ職員を配置し、電話や来局して寄せられる日常的な相談に対応した。また、母語で寄せられる事案については、中国人及び韓国語対応の相談員に加え、新たにフィリピン語対応の相談員を配置し、相談体制の充実を図った。また、常時母語で相談に対応できるように、中国人、韓国語の国際交流補助員を配置し、きめ細やかに支援を行った。

ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育てに関する事など幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置した。
 ・相談件数 615 件（前年度 572 件）（イ、ウの相談件数を含む。）

（相談内容の内訳）

	コミュニケーション	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
25年度	114	5	38	82	150	183
26年度	75	25	54	102	211	148

イ 相談専門員の配置

中国語、韓国語及び英語で対応する相談専門員等を配置し、県内在住外国人が多い中国、韓国、フィリピン出身の在住外国人からの相談に対応した。

- ・外国人相談専門員(中国語、1名) 火曜日～金曜日 12:30～18:30
- ・外国人相談専門員(韓国語、1名) 水曜日 15:00～17:00
- ・外国人相談専門員(英語、1名) 木曜日 15:00～17:00
- ・国際交流補助員(中国語、2名) 隔週月曜日～金曜日 17:15～20:15
- ・国際交流補助員(韓国語、1名) 土曜日・日曜日 16:15～20:15
- ・国際交流補助員(スペイン語、1名)土曜日・日曜日 9:00～16:00

ウ 外国人定期相談日

在住外国人が抱える在留資格・諸手続きなどの課題を解決するため、岩手県行政書士会と連携し、定期的に相談日（毎月第3水曜日）を設けた。

- ・開設回数 12回 相談件数 12件（前年度 12回 9件）

エ 地域巡回相談

地域在住の外国人や日本語教室を支援するため、外国人相談専門員等が地域の日本語教室等を巡回し、地域在住の外国人への相談対応や情報提供を行った。

- ・日本語教室等巡回数 11教室等（前年度 14教室等）
- ・相談対応件数 35件（前年度 57件）

（相談内容の内訳）

	在留資格	離婚	日本語	子ども	手続き(医療)	夫婦関係	仕事	生活一般
25年度	6	4	10	5	4	4	4	20
26年度	9	2	5	5	3	3	6	5

オ 震災復興関連の相談対応

震災に関する相談やそれに付随する相談に対応するため、被災地に被災地外国人相談員を配置し対応した。

配置地域： 山田町、大槌町、陸前高田市・大船渡市

② 多言語サポーターの登録・育成と活用

在住外国人が地域の中で不便なく生活できるよう、通訳や翻訳のほか、様々な分野において多言語によるアドバイスなどの支援を行った。また多言語サポーター登録者の能力向上を図るために国際交流センターと一関市で研修会を開催した。

ア 多言語サポーターの登録・活用

医療受診時の通訳、学校における外国人児童生徒等に対する通訳や生活上の諸手続きに関する通訳や翻訳等の支援に対応できるよう多言語サポーターの登録を行い、依頼に応じて活用を行った。

また、3月に実施された ISO 社会セキュリティ専門委員会盛岡総会等、国連防災会議関連事業の実施にあたり多言語サポーターの研修会の実施と派遣を行った。

・登録者 222人 活用 9件 (前年度 215人、17件)

対応言語数 21か国

イ 多言語サポーター研修会

【盛岡市開催】

(ア) 日時 平成26年8月30日(土) 13:00-16:00

会場 アイーナ6階 団体活動室1

テーマ「外国人の生活上の諸手続きと多言語サポーターとしての心構え」

・講師 横山 勝氏(行政書士)

・体験談

講師 吉田 亜未(当協会スタッフ)

・ロールプレイ

通訳指導 イアン・サトル氏、チョ・ユミ氏、李楠氏(県国際交流員)、
コドリン・ドラグシャヌ氏、ワン・フィーリン氏(人材活用ネットワーク登録者)

参加者数 14名(英語8名、中国語3名、他言語3名)

【一関市開催】

(イ) 日時 平成26年9月6日(土) 13:00-16:00

会場 一関公民館(なのはなプラザ3階 会議室)

テーマ「外国人の生活上の諸手続きと多言語サポーターとしての心構え」

・講師 横山 勝氏(行政書士)

・体験談

講師 八木 ゆかり(当協会外国人相談専門員)

・ロールプレイ

通訳指導 イアン・サトル氏、チョ・ユミ氏、李楠氏（県国際交流員）、
ネイト・ヒル氏（人材活用ネットワーク登録者）

参加者数 12名（英語11名、中国語1名）

ウ 国連防災会議関連事業に関する語学サポーター研修会及び派遣

(ア) 語学サポーター研修会

第1回「国連防災会議及びISO社会セキュリティ専門委員会盛岡総会に
ついて」

日時 平成27年1月31日（土）13:30-15:00

会場 アイーナ6階 講師控室

講師 阿部 博氏（岩手県環境生活部若者女性協働推進室特命課長）

参加者 10名

第2回「語学研修(1)」

日時 平成27年2月5日（木）13:30-15:00

会場 アイーナ6階 講師控室

講師 河田 裕子氏（通訳者・通訳案内士・翻訳者）

参加者 10名

第3回「語学研修(2)」

日時 平成27年2月21日（土）10:00-12:00

会場 アイーナ6階 講師控室

講師 小原 ナオ子氏（日本国際協力センター研修監理員）

参加者 7名

第4回「事前説明」

日時 平成27年2月27日（金）18:00-19:30

会場 アイーナ6階 団体活動室1

講師 阿部 博氏（岩手県環境生活部若者女性協働推進室特命課長）

小泉 和宏氏（東広社 中部支社長）

田中 正幸氏（アクセス）

参加者 16名

(イ) 語学サポーター派遣

・ISO社会セキュリティ専門委員会盛岡総会記念シンポジウム及びレセ
プション

日時 平成27年3月9日 16:30-21:00

会場 ホテルメトロポリタン盛岡

派遣者数 10名

・ISO社会セキュリティ専門委員会スタディツアー

日時 平成27年3月11日（水）8:00-18:30

訪問場所 宮古コース及び釜石コース

派遣者数 6名

・国連防災会議岩手県事業

日時 平成27年3月17日（火）9:30-14:00

会場 ベリーノホテル一関

派遣者数 6名

③ 私費外国人留学生支援

ア 私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、月額4万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職を支援するためのフォーラム等への積極的な参加を得た。

・奨学金受給者 10人 国際交流等活動実績 延べ185件(前年度10人 延べ179件)

氏名	学校名	在籍学部等及び学年	出身国 (出身地)	活動 件数	支給期間
栄 瑠純	岩手大学	工学研究科 修士2年	中国 (天津市)	36	自 H26.4 至 H27.3
閔 暁娣	岩手大学	教育学研究科 修士1年	中国 (陝西省)	16	自 H26.4 至 H27.3
金 信元	岩手大学	人文社会科学部研究科 修士1年	韓国 (大田広域市)	20	自 H26.4 至 H27.3
張 彭	岩手大学	教育学部・ 生涯教育課程3年	中国 (黒竜江省)	14	自 H26.4 至 H27.3
鄭 義煥	岩手大学	人文社会科学部・ 法学経済学科4年	韓国 (釜山市)	21	自 H26.4 至 H27.3
陳 錚	岩手大学	社会環境工学研究科 修士1年	中国 (黒竜江省)	12	自 H26.4 至 H27.3
余 韻	岩手大学	教育学研究科 修士2年	中国 (浙江省)	18	自 H26.4 至 H27.3
ヨン ラフ ン オッド ソン	岩手大学	工学研究科 修士1年	アイスラン ド(Vestfirðir)	16	自 H26.4 至 H27.3
趙 迪	富士大学	経済学部 経営情報学科4年	中国 (河北省)	17	自 H26.4 至 H27.3
文 君偉	富士大学	経済学部 経営情報学科4年	中国 (新疆ウイ グル自治 区)	15	自 H26.4 至 H27.3

イ 関係機関と連携しながら外国人留学生の県内就職を支援するため、岩手県が実施(協力・岩手県外国人留学生就職支援協議会)した就職支援セミナーをはじめ、就職関連の情報提供を行った。

2 交流による地域づくり

(1) 情報の収集・提供

① 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

国際交流・協力・多文化共生に関する「情報収集・提供」の拠点施設として外国語も含めた蔵書やビデオ・DVDの教材、人民日報ほか4か国の外国語の新聞、海外の雑誌、海外留学関連を始めとした様々な国際交流・国際協力・多文化共生に関する情報の収集・提供を行った。

特に、協会の資産である県内外の関係機関、団体や個人とのネットワークを活用して、質の高い情報や資料を集積し、国際交流センターを活用して情報を発信するとともに、広く在住外国人や県民の語学学習の活用に向けて提供した。

加えて、在住外国人の協力を得るとともに、各国大使館や政府観光局などを通じて国別、地域別の情報や資料、民族衣装や各国の物品などを収集、各イベント時での使用や外部への貸出など、国際理解の推進に活用した。

- ・蔵書等のデータベース登録数 7,226冊（前年度 6,977冊）
- ・資料収集国数 190か国（前年度 190か国）
- ・国別ボックス数 25箱／56か国（前年度 21箱／67か国）

② メーリングリスト「いわてプラネット」の運営

メーリングリスト「いわてプラネット」(i-planet@freeml.com)を運営し、県内外で行われる国際交流・協力に関するイベントや外国人支援・多文化共生に関する情報を随時提供した。

- ・メーリングリスト「いわてプラネット」
登録者数 450人（前年度 449人）

③ 機関誌「いわて国際交流」の発行

在住外国人の出身国の食文化や慣習、習わしの違いなどについてを特集に取り上げ、年2回発行した。県内の公共機関、各市町村、国際交流関係団体、学校関係機関などに送付し広く一般県民にグローバル化についての啓発普及を行った。また、多言語版（英語・中国語・韓国語）については、協会のホームページに掲載し、在住外国人の方々にも同様の啓発普及を行った。

- ・日本語版 8,000部／年2回（前年度 8,000部／年2回発行）

(2) 国際交流の推進

① 国際交流センターの運営推進

岩手県から委託を受けて、県民交流ラウンジや図書資料コーナー、日本語教材室・日本語学習コーナー、相談室、展示コーナー、ワーキングルームなどの施設の運営を行い、広く一般県民に利用しやすい施設の提供を図った。

今年度においては、ISO社会セキュリティ委員会盛岡総会等国連防災会議関連事業の語学ボランティア研修を実施した。

また、協会設立以来20数年間蓄積してきたノウハウを活用し、県民から出された要望なども踏まえながら、本県国際交流活動等の中核的推進組織として

の独自の視点、判断に基づいて、独自予算を使いながら、図書や情報などの収集・提供業務を行った。

「県民交流ラウンジ」については、外国人の国際交流等補助員を配置するなど、外国人県民が気軽に立ち寄り、県民と外国人が触れ合う環境となるよう配慮した。語学コーナーでは、利用者の増加に伴いより一層利用しやすいよう改善を図った。

「日本語教材室・日本語学習コーナー」については、日本語サポーターや在住外国人が充実した日本語学習ができるよう、新しい教材の紹介などを行った。

昨年度に引き続き、日本語学校の留学生の来局が減少したことが、日本語教材室・日本語学習コーナー利用率減少にも大きく影響している。

展示コーナーについては、「フェアトレードに関すること」など当協会の世界フェアトレードデーやワン・ワールド・フェスタのイベントに関するタイムリーなテーマを取り上げた展示を行ったほか、国連防災会議関連事業に併せて県民活動交流センターと連携し復興関連展示、岩手大学と連携し「外国人留学生による‘岩手のいいところ’写真展」を実施するなど、年間を通じて企画展示を開催しコーナーの活用を図った。また、国際リニアコライダーについては常時展示を行い、県民が気軽に国際リニアコライダーを学ぶことができるよう配慮した。

当センターなどを会場に「ワン・ワールド・フェスタ」などイベントを開催することによって、外国人も含め広く県民の方々に当センターを周知することができた。

以上のもとに、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流等の拠点施設である国際交流センターの業務を推進するため、スタッフ 6 名及び外国人の国際交流補助員 4 名を配置し、センター利用者への応対、情報収集・提供、在住外国人の相談、国際理解推進等にあたった。

なお、10 月より開館時間が 21 時半から 20 時に変更となった。

- ・来館者数 143,375 人 (前年度 152,209 人)
- ・インターネット利用者数 4,461 人 (前年度 5,858 人)
- ・情報提供件数 1,228 件 (前年度 1,300 件)

② 外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催

広く県民に外国人との交流の場を設け、各国の文化紹介などをテーマに、様々な国籍の在住外国人をゲストスピーカーに迎え、アイーナで 8 回開催した。

- ・開催回数 8 回 参加者 延べ 567 人 (前年度 12 回 延べ 753 人)

開催日	タイトル	ゲストスピーカー	参加者数
平成 26 年 5 月 10 日	第 170 回 フェアトレードでつながろう、世界の人たち！	カルロス・ハビエル・ゴンザレス氏(パラグアイ出身)、モハンタ・ウディ・クマール氏(バングラデシュ出身)、高橋オフェリア氏、西村セシリア氏、向井ミラ氏(以上 3 名フィリピン出身)	99
6 月 15 日	第 171 回 インターナショナル・バザ	チャヤノン・サブァーパー氏、ナロンサック・ピシヤピスット氏(以上 2 名タ	20

	ー ～しゃべって、買って、復興支援！	イ出身)、ディーン・ホルデン・ルツラー氏(アメリカ出身)、グズフィンヌル・バルドゥル・スカーリングソン氏(アイスランド出身)	
7月5日	第172回 イエートウン ベトナム！ ～かわいいベトナム！～	レ ホン ニュン氏、レー ティ チン氏、マイ ティエン ソン氏、ルーティ タンビン氏(以上4名ベトナム出身)	25
9月6日	第173回 岩手って、最高！ ～外国人から見た岩手トーク～	キャスリン・アカサカ氏(アメリカ出身)、チャロエンミン・ニティ氏(タイ出身)、吉田グラディス氏(コロンビア出身)、ガブリエル・モコンデ氏(タンザニア出身)	42
10月5日	第174回 インターナショナル・バザー ー ～写真でみるカナダとアメリカ～	ジェイソン・ヒル氏(カナダ出身) ウィリアム・デーヴィット・ウッズ氏(アメリカ出身)	56
11月16日	第175回 One World on the Stage 2014	岩手大留学生 王梓氏(中国出身)、ベトナム バンプーダンス(盛岡情報ビジネス専門学校留学生)、レゲエシンガーALAIN(アレン)氏、インドネシア舞踊(平賀泉)	235
12月13日	第176回 クリスマスパーティ	アン・プリディ氏(イギリス出身)、ヴァレラ・チベス・ミゲル・アンゲル氏(メキシコ出身)、ミランダ・カロール氏(ペルー出身)、ミカ・ワレニウス氏(フィンランド出身)	48
平成27年2月7日	第177回 中国・韓国の旧正月	文 君偉氏、于 璐氏(以上2名中国出身) 金 信元氏、鄭 義煥氏(以上2名韓国出身)	42

③ 「2014 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

国際交流・協力・多文化共生の啓発普及を図るため、外国人やボランティアの方々等と連携・協働して「2014 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」を国際交流センター及び一関市川崎町、陸前高田市で開催した。

地域開催については、各地域の特色を生かし、地域の団体や外国人の方々を中心となって企画運営にあたりるとともに、アイーナで開催したプログラムの一部を加え、フェスタ当日は当協会と協働体制で運営にあたった。

ア 国際交流センターにおける開催

開催日 平成26年11月16日(日)

会場 アイーナ

参加者 2,205人(前年度2,527人)

ボランティア 外国人79人、日本人110人 合計189人(前年度174人)

プログラム 「ステージ体験 One World on the Stage(ちゃっとランド)」「外国紹介ブース」「国際交流団体活動展示」「国際理解ワークショップ～世界のこども」「キッズコーナー Kids Playground」「One World Café」等

イ 2014 ワン・ワールド・フェスタ in かわさき～クリスマス国際交流会～

開催日 平成26年12月7日(日)

会場 一関市川崎公民館

参加者 約100人

共催 川崎 21 世紀国際交流クラブ
 プログラム お国自慢料理試食コーナー、民族舞踏紹介コーナー、民族衣装体験
 コーナー、キッズ&クラフトコーナー、外国人相談
 ウ ワン・ワールド・フェスタ in けせん~クリスマス交流会~
 開催日 平成 26 年 12 月 21 日(日)
 会場 ふるさとセンター（陸前高田市小友コミュニティセンター）
 参加者 約 180 人
 共催 陸前高田市国際交流協会、大船渡市国際交流協会、陸前高田ユネスコ
 協会
 プログラム 「インターナショナルレストラン・カフェ」「インターナショナルシ
 ョー」「フィリピン台風被災者支援募金の報告」「お楽しみビンゴ」「外国
 紹介ブース」「民族衣装を着てみよう」「キッズコーナー」「外国人
 相談コーナー」「外国人相談コーナー」「高田音頭」

④ 外国文化紹介講師派遣

地域住民の外国文化に対する理解の促進を図るため、県内で開催される外国文化理
 解に関する行事等に、国際交流員、海外研修員や「いわて留学生大使」等を講師とし
 て派遣した。派遣先は、県内各地に広がり、また学校だけでなく、地域の集まりなど
 にも拡大し、より幅広い年代の方々と交流することができた。

・派遣回数 43 回 参加者 3,814 人（前年度 44 回 3,540 人）

派遣日	派遣先団体(会場)	派遣講師(国籍 等)	事業内容	参加者数
平成 26 年 4 月 8 日	岩手医科大学歯学部	浅沼 マリ	国際理解	43
5 月 14 日	岩手県立水沢高等学校	アマンダ・クリ プス	国際理解	250
6 月 17 日	米内地区福祉推進会	朴 美香	料理講座	12
6 月 22 日	公益財団法人盛岡国際交流協 会	在原エリザベス	国際理解	400
6 月 24 日	岩手県立盛岡第一高等学校	アマンダ・クリ プス、 イアン・サトル	国際理解	290
6 月 26 日	岩手県立花巻南高等学校	ミランダ・クエ ンカ・ヤスミ・ カロール	国際理解	61
7 月 15 日	遠野市聖光幼稚園	アマンダ・クリ プス 李 楠	国際理解	65
7 月 19 日	公益財団法人花巻国際交流協 会	アマンダ・クリ プス	国際理解	11
7 月 28 日	九戸村国際交流協会	レ・ホン・ニュ ン	料理講座	19
8 月 5 日 ～6 日	金ヶ崎町教育委員会	余 韵	国際理解	28
8 月 17 日	金ヶ崎町国際交流協会	Laura Mijo Fukui Ishii	料理講座	350
9 月 1 日	盛岡市立城北小学校	イアン・サトル、李 楠、金 信元、ヨ	国際理解	127

		ン・ラフン・オッド ソン		
9月18日	NPO 法人 HARP	閔 暁娣	国際理解	10
9月26日	大釜幼稚園	ユミ・チョ	語学講座	136
10月4日 11月9日	岩泉町教育委員会	菅沼 レイブン	国際理解	14
10月24日	普代村立はまゆり子ども園	イアン・サトル、ユミ・ チョ、ミランダ ケ ンカ ヤスミ カロル	国際理解	76
10月24日	田野畑村立たのはた児童館	イアン・サトル、ユミ・ チョ、ミランダ ケ ンカ ヤスミ カロル	国際理解	116
11月4日	盛岡市立さくらがおか保育園	鄭 義煥	国際理解	100
11月9日	一関市千厩公民館	イアン・サトル、 ユミ・チョ	国際理解	36
11月23日	公益財団法人花巻国際交流協 会	ユミ・チョ、李 楠	国際理解	1000
12月2日	青山保育園 地域子育て支援 センター	イアン・サトル	国際理解	68
12月7日	いわて子育てネット	イアン・サトル	国際理解	218
12月12日	盛岡市立乙部保育園	イアン・サトル	国際理解	180
12月12 日、17日、 19日	下太田保育園	ピーター・フラ ワーズ、タイラ ー・ギルバート	国際理解	300
12月13日	津志田保育園	イアン・サトル	国際理解	200
12月16日	盛岡市立山王小学校	ユミ・チョ	国際理解	200
12月17日	岩手県立盛岡みたけ支援学校	ユミ・チョ	国際理解	40
12月17日	愛育園地域子育て支援センタ ー	イアン・サトル	国際理解	43
12月18日	見前南小学校	イアン・サトル	国際理解	120
12月19日	本宮保育園	イアン・サトル	国際理解	140
12月24日	青山保育園	イアン・サトル	国際理解	170
12月24日	誠文官学童クラブ	イアン・サトル	国際理解	50
12月25日	黒石野保育園	イアン・サトル	国際理解	120
平成27年 1月27日	花巻市生涯学習部生涯学習交 流課	ユミ・チョ	国際理解	26
2月7日	岩手・デンマーク友好協会	ヨン・ラフン・オ ッドソン	国際理解	10
2月8日	岩手県立図書館 指定管理者 図書館流通センター	柳 東秀	国際理解	37
2月21日	八幡平市国際交流協会	余 韻、文 君偉	国際理解	20
2月25日	宮古市立宮古小学校	イアン・サトル、 李 楠	国際理解	38
2月25日	岩手県立盛岡第二高等学校 ESS	ユミ・チョ	語学講座	15

⑤ ホストファミリーの登録・活用

ホームステイの受入れにより外国人との交流を深めるため、ホストファミリーを登録し、各市町村協会や団体と連携し、活動の機会を提供した。

・登録者 149家庭 活用6件、15家庭（前年度142家庭、1件）

⑥ いわて国際化人材の登録・活用

通訳や翻訳、講座の講師、料理講座や踊りなど伝統文化の紹介などの依頼に対

応するために、外国人や海外経験のある人材を登録し依頼に応じて紹介を行った。

様々な言語の依頼に対応できるよう登録者の拡大を図り、インドネシア語など希少言語の依頼にも対応した。

- ・登録者 個人 296人 団体 7、依頼件数 93件、活用件数 69件
(前年度 // 280人 // 7 // 68件 // 58件)

⑦ 国際交流団体等への活動支援

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動が活発に行われるようにするため、経費の一部を助成した。

- ・助成数 6件 助成総額 443千円
(前年度 7件 // 498千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
キッズワールドクラブ	(一財)遠野市教育文化振興財団	100,000円 (516,868円)
父・孫基禎を語る会	「父・孫基禎を語る会」実行委員会	49,000円 (99,089円)
フィリピン台風被災者支援チャリティ映画上映会	陸前高田市国際交流協会	82,000円 (165,315円)
「藤原長作さんの中国での米作りに学ぶシンポジウム」開催事業	西和賀町国際交流協会	58,000円 (141,425円)
日中友好留学生との交流会	盛岡市日中友好協会	54,000円 (171,513円)
一戸町国際交流協会設立15周年記念事業	一戸町国際交流協会	100,000円 (546,834円)

⑧ 海外とのネットワーク構築

国際リニアコライダーなど様々な分野で岩手県を海外に発信し、海外との情報交換や交流の促進などを行うために、海外在住の県出身者や岩手にゆかりのある方々の情報を収集しリストの作成を行った。

(3) 国際理解の推進

① 企画展示

「フェアトレード」など当協会のイベントに関するテーマを取り上げた展示を行ったほか、岩手大学と連携し「外国人留学生により‘岩手のいいところ’写真展」を実施するなど、年間を通じて企画展示を開催しコーナーの活用を図った。この他、国連防災会議関連事業に併せて県民活動交流センターと協働で復興関連展示を行った。「国際リニアコライダー」については、県や市町村から提供された発行物の提供とともに年間を通じてコーナーを設置しPRに努めた。

開催場所 国際交流センター内 展示コーナー

(4) 国際交流団体等との連携

① 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流・協力・多文化共生に関わっている団体の活動の活性化を図るため

に、各団体間の意見交換や情報交換のほか、当協会との情報共有の機会として関係団体連絡会議を国際交流センターで開催した。

地域での意見交換会については、今年度から地域別で実施することとし、今年度については県南地域を対象に奥州市で開催した。県南地域の市町村国際交流協会の他、市町村担当者、県及び県南広域振興局の担当者も出席し、各地域での活動状況や現在の課題など活発な情報交換を行った。

○国際交流関係団体連絡会議

- ・開催日 平成 27 年 2 月 25 日(水)
- ・会場 アイーナ
- ・参加者 23 団体 28 人 (前年度 24 団体 31 人)

○国際交流関係団体地域別(県南地域)意見交換会

- ・開催日 平成 26 年 12 月 18 日(木)
- ・会場 プラザイン水沢(奥州市)
- ・参加者 8 市町村協会、7 市町村、県担当者及び県南広域振興局
23 人(前年度 7 団体 9 人)

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 135 団体(前年度 139 団体)

分野	団体数
国際理解	19
国際協力	9
日本語教室	8
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	16
経済・観光	6
二カ国間交流	33
市町村・一般	31

② 国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対して、共催団体として支援を行った。

ア 多文化キッズキャンプ 2014

- ・主催 いわて多文化子どもの学習支援連絡協議会
- ・開催日 平成 27 年 1 月 11 日(土)～12 日(日)
- ・会場 岩手山青少年交流の家
- ・参加者 68 人(内 外国籍の子ども 28 人、国籍数 7 か国)
- ・内容 幼稚園児から大学生まで、幅広い年齢の外国につながる子どもたち(親が外国人)が参加し、大学生のボランティアや日本語サポーターの方々からの教科と日本語の学習サポートやスポーツやゲームを通じての交流を行った。

3 次代を担う人づくり

(1) 講座・研修

① いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、岩手における今後の国際交流・協力・多文化共生について考える契機とし、県民を対象とした3回シリーズのセミナーを開催した。

その中で、県全体として誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー」もテーマに取り上げたパネルディスカッションを行い、ILC誘致の意義とともに、外国人から見た岩手に魅力などについても理解を深めた。

また、「いわて青年国際塾」との併催とし、若い世代の参加者の拡大を図った。

・開催回数 3回 参加者 延べ131人（前年度 6回 延べ245人）

第1回「私にできること ～東北での4年間を振り返る～」

日時：平成26年12月20日（土）14:00-15:30

講師：陸前高田市海外広報ディレクター アミア・ミラー氏

第2回「海外（グローバル）から岩手（ローカル）への軌道」

日時：平成27年1月10日（土）14:00-15:30

講師：一般社団法人 おらが大槌夢広場事務局長 神谷 未生氏

第3回パネルディスカッション「日本（岩手）を世界へ発信 東日本大震災とILC」

日時：平成27年2月14日（土）14:00-15:30

コーディネーター：岩手県立大学盛岡短期大学部教授 千葉 啓子氏

パネリスト：奥州市ILC国際課推進員 トマス・アンナ・マリ氏

外国語指導助手、国際ILCサポート委員会委員ネイト・ヒル氏

岩手県広聴広報課海外情報発信専門員 アマンダ・クリプス氏

東北ILC推進協議会事務局次長 晴山 睦氏

② 海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」

グローバル化に対応できる次世代の人材を育成するため、県内在住の高校生、大学生など若い世代を対象に、コミュニケーション能力の向上などグローバルな人材に必要とされる技術の習得、留学やワーキングホリデーなどに必要な情報提供などを目的とした研修会を開催する。

ア 基本講座（いわてグローバル・カレッジとの併催）

イ 集中セミナー

参加者 : 延べ 86人（前年度175人）

第1回 講演会「フランスに2回住んだ～仕事で、そして学生として～」

日時：平成27年2月8日（日）14:00-15:30

講師：近藤 謙一氏

参加者：18人

第2回 「国際人@いわてを目指そう！～地方に在ながらのグローバル感覚を身に付けるために～」

日時：平成27年2月15日（日）14:00-15:30

講師：吉田 知教氏（岩手県環境生活部若者女性協働推進室）

参加者：27人

(ディスカッション)

日時：平成27年2月15日(日) 15:30-17:00

ゲスト：トマス・アンナ・マリ(米国)、ピーター・フラザーズ(米国)、
ヨン・オッドソン(アイスランド)、

協力外国人留学生：レホンニョン(ベトナム)、方琳(中国)、チャジフ
ン(韓国)、チャン・クオック・トアン(ベトナム)

参加者：20人

ウ 留学セミナー

日時：平成27年2月28日(土) 14:00-15:30

講師：一般社団法人 日本ワーキングホリデー協会 駒木根 亜実氏

参加者：21人

③ 国際理解ワークショップの開催

国際理解の推進を図ることを目的に、二戸高等看護学院等県内の学校等からの依頼に応じて、多文化共生などをテーマにした国際理解ワークショップを開催した。

・開催回数 9回 参加者 延べ185人(前年度 11回 延べ323人)

④ インターンシップ受入れ

本協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸成にも資するため中学生や高校生、大学生のインターンシップ・プログラムの受入れを行うとともに、教員10年研修などの依頼に応じて受入れを行った。

(受入実績：6校、13人)

ア 山田町豊間根中学校(職場体験) 2人

受入期間：平成26年4月15日(火)

イ 第一学院高等学校盛岡キャンパス 6人

受入期間：平成26年6月20日(金)

ウ 久慈市立久慈小学校(教員10年研修) 1人

受入期間：平成26年7月30日(水)

エ 岩手県立軽米高等学校(職場見学) 1人

受入期間：平成26年8月2日(土)

オ 平成26年度インターンシップ(三大学連携運営) 1人

受入期間：平成26年9月2日(火)～9月6日(土)

カ 岩手大学(職場見学：ジョブシャドーイング) 2人

受入期間：平成26年8月30日(土) 2人

⑤ 地域国際化リーダー研修会の開催

地域国際化リーダーを育成するため、国際交流関係団体の職員等を対象とした研修会を、国際交流連絡会議開催同日に国際交流センターで開催した。

○講演「ILCの一日も早い実現を目指して」

講師：岩手県商工会議所連合会 専務理事 廣田 淳氏

開催日：平成 27 年 2 月 25 日（水）

参加者：23 団体 28 人（前年度 24 団体 31 人）

(3) 海外研修員等の受入れ

① 海外研修員等のサポート

県から委託を受けて、県が海外から受け入れる海外自治体職員研修員及び技術研修員の研修等がスムーズに行われるよう生活上の支援を行うとともに、岩手における生活を充実して過ごし、本県の良き理解者・支援者となるようサポートを行った。

区 分	氏名	期 間	出身国	研修(内容)・留学先
海外自治体職員研修員	李 博	平成 25 年 6 月～ 平成 26 年 5 月	中国	岩手県
海外自治体職員研修員	于 璐	平成 26 年 6 月～ 平成 27 年 4 月	中国	岩手県
海外技術研修員	福井ラウラ美穂	平成 26 年 6 月～ 平成 26 年 12 月	パラグアイ	竹田・菊地 税理士法人

4 震災被災地復興の支援

(1) 外国人相談

震災被災地で震災に関する相談、またそれに付随する相談について、被災地外国人相談員を委嘱し、協会と連絡調整を図りながら活動していただいた。

・被災地外国人相談員

山田町担当：佐藤秀樹氏（社会福祉法人三心会事務長）

大槌町担当：元持幸子氏（NPO つどい～大槌の人とまちを育む～事務局長）

大船渡市・陸前高田市担当：大和田加代子氏（陸前高田市国際交流協会日本語教室講師）

・委嘱期間 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

(2) 震災被災地団体支援

被災地での国際交流活動が円滑に実施、再開できるよう支援を行った。

大槌町国際交流協会では姉妹都市交流が震災以降、交流が休止状況だったが、中学生の派遣事業の再開にあたり、事前研修への助言を行ったり、陸前高田市で陸前高田市国際交流協会や大船渡市国際交流協会と共催でワン・ワールド・フェスタを開催するなど地域のニーズに対応した支援を行った。また、拓殖大学から野田村のアジア民俗造形館への支援の申し出について当協会が仲立ち役を担うなど支援を行った。

(3) アイーナ復興バザーの開催

アイーナ入居施設が連携して取り組むアイーナ復興バザーに参加し、被災地復興支援に協力した。

開催日：平成 26 年 6 月 15 日（日）及び 10 月 5 日（日）

< 管理部門 >

I 評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会及び専門委員会の開催状況は、次のとおりである。

1 評議員・理事会等

(1) 第12回理事会

ア 開催日 平成26年6月4日(水)

イ 開催場所 アイーナ6階団体活動室3

ウ 決議事項

- ① 平成25年度事業報告及び附属明細書の承認
- ② 平成25年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認
- ③ 定時評議員会の招集

エ 報告事項

- ① 職務の執行の状況
- ② 資金運用の経過及び結果
- ③ 平成25年度県出資等法人運営評価シート

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数6名、出席7名。監事出席1名。

(2) 第5回評議員会

ア 開催日 平成26年6月25日(水)

イ 開催場所 アイーナ6階団体活動室2

ウ 決議事項

- ① 平成25年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認
- ② 理事の選任

エ 報告事項

- ① 理事会の決議内容
- ② 平成25年度事業報告及び附属明細書
- ⑤ 平成26年度事業計画書及び収支予算書
- ⑥ 理事会の決議内容
- ⑦ 職務の執行の状況
- ⑦ 資金運用の経過及び結果
- ⑧ 平成25年度岩手県出資等法人運営評価

オ 出席等

決議に必要な出席評議員の数7名、出席8名。監事出席2名、理事出席2名。

(3) 第13回理事会(書面表決)

「公益財団法人岩手県国際交流協会就業規則」並びに「公益財団法人岩手県国際交流協会非常勤職員及び臨時職員就業規則」の一部改正に係る理事会書書

面表決を行い、平成 26 年 8 月 28 日に決議報告を行った。

(4) 第 14 回理事会

ア 開催日 平成 26 年 11 月 14 日（金）

イ 開催場所 アイーナ 8 階 801 会議室

ウ 報告事項

- ① 第 5 回評議員会の決議事項
- ② 職務の執行状況
- ③ 資金運用の経過及び結果
- ④ 平成 25 年度事業の評価
- ⑤ 平成 26 年度県出資等法人運営評価シート

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 8 名。監事出席 1 名。

(4) 第 15 回理事会

ア 開催日 平成 27 年 3 月 25 日（水）

イ 開催場所 アイーナ 8 階 801 会議室

ウ 報告事項

- ① 職務の執行の状況
- ② 資金運用の経過及び結果
- ③ コンプライアンスの状況について

エ 決議事項

- ① 平成 27 年度事業計画書及び収支計算書の作成

オ 出席等

決議に必要な出席理事の数 6 名、出席 9 名。監事出席 1 名。

2 専門委員会

(1) 第 1 回企画推進専門委員会

ア 開催日 平成 26 年 11 月 8 日（土）

イ 開催場所 アイーナ 6 階講師控室

エ 審議事項

平成 26 年度事業の進捗状況

平成 25 年度実施事業の評価

オ 出席等

専門委員 9 名、理事 2 名。

(2) 第 2 回企画推進専門委員会

ア 開催日 平成 27 年 3 月 7 日（土）

イ 開催場所 アイーナ 6 階 会議室 602

ウ 審議事項

平成 27 年度事業計画（素案）

エ 出席等

専門委員 9 名、理事 2 名。

II 業務執行体制等

1 職員の状況

非常勤専門職員（スタッフ）の1名が7月末に退職した。平成25年8月より産休及び育休に入っていた非常勤専門職員（スタッフ）1名が平成27年1月より復職した。

平成26年度末の事務局職員数は、常勤職員3名、非常勤専門職員7名、非常勤相談員3名、非常勤補助員4名である（事務局長事務取扱役員を除く）。

2 コンプライアンス体制及び職員研修

職員に対して当協会の目的や公益財団法人の職員としての心構えや期待されていることについて理解を図る目的で、平成26年4月と平成27年1月の2回、理事長講話・訓示を行った。

また、平成27年3月、規程に基づく事務局内コンプライアンス委員会において平成26年度におけるコンプライアンスの状況の確認を行い、理事会に報告した。

3 JICA国際協力推進員の配置

当協会とJICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA東北支部との協定により、協会内にJICAデスクを設置し、国際協力推進員を配置しているが、平成26年度も継続配置した。

III 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

1 寄附金の受入れ

次の7件1,257,000円の寄附金を受け入れた。

(1) 一般寄附金

6件 1,207,000円

(2) 協賛寄附金

1件 50,000円

2 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、平成25年3月から5月に募集キャンペーンを行い、新規入会者に入会記念品を差し上げたほか、通年、イベント開催時に参加者に賛助会員入会を呼びかけた。平成26年度の新規入会は39件あった。

平成26年度中の入退会の状況は、次のとおりである。

	平成26年3月末	入 会	退 会		平成27年3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	409	31	21	0	419	+10
学生会員	25	6	0	0	31	+6
団体会員	62	2	2	0	62	0
合 計	496	39	23	0	512	+16

平成 26 年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 27 年 5 月

公益財団法人岩手県国際交流協会